

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
	1	地域特性を活かした観光振興事業	H24 ～ H33					
	1	① 瀬長島観光拠点整備事業	H24 ～ H28	H24年度策定の瀬長島観光拠点整備計画を踏まえ、観光拠点の整備を実現するため、必要な施設並びに設備等の整備を行い島全体の利便性の向上を図る。	瀬長島内の施設並びに設備等の設計、整備を実施。(無電柱化設計及び整備、現場技術委託、磁気探査、避難路設置、展望広場、駐車場、道路整備、子宝岩再現等)	瀬長島内の施設及び設備等の整備を実施	(H27年度) ・案内サイン ・防犯灯設置 ・無電柱化(入構等) (H28年度) ・リーフレット作成	
		② 観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ H29	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、美らSUNビーチ、レンタカーステーション、沖縄アウトレットモールあしびなー、ホテルへ繋がる市道沿いに、平成25年度に植栽した花木の管理を引き続き行い、美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	①植樹樹の除草清掃 ②プランターの植栽管理(灌水等)	①植樹樹の除草清掃(1390樹、3回除草清掃) ②プランターの植栽管理(464個)	(今後の展開方針) 植樹樹の除草清掃、花木の植栽管理(灌水等)を継続して行う。	
		③ 景観計画策定事業	H25 ～ H27	豊かな自然や歴史文化等の地域独自の風土を感じさせる風景を活かした景観像を明確にし、観光地にふさわしい景観形成を実現するために景観計画を策定する。	景観計画素案作成業務の委託	景観計画素案の作成	(今後の展開方針) 景観計画策定、条例制定、ガイドライン作成等を行い、本市の特徴を活かした良好な景観形成を図る。	
		④ 観光振興等支援事業	H25 ～ H29	市観光協会などが実施する観光資源の開発やイベント事業に対して補助することにより、観光振興や地域振興に取り組む担い手となるまちづくり団体を育成し、観光振興に取り組める環境づくりを図る。また、オフシーズンの誘客対策として新たな特色ある観光事業の誘致や開催を検討する。	豊見城市観光協会等の補助対象団体へ補助金交付	主要観光施設における観光客数 約230万人(H23年度)→約271万人(H26年度)	同事業の周知を広く行い、更なる観光客の誘客促進、地域活性化を図る。	
		⑤ 観光ボランティアガイド養成事業	H26	豊見城市を訪れた観光客に対し、地域の魅力を詳しく紹介できるボランティアガイドを育成し、豊見城ファンを作れるよう取り組む。 また、市内在住および在勤の外国人を活用し外国人観光客への対応も可能となるよう取り組む。	観光ボランティアガイド養成講座の実施	観光ボランティアガイドの養成 ボランティアガイド登録数6名	登録されたボランティアガイドが、国内外観光客等に伊良波、瀬長、豊崎の「まちまーい」等において、市の観光スポットを案内する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
⑥	とみぐすく祭り事業	H26 ～ H33	豊かな自然環境、恵まれた地勢のみならず、歴史文化に育まれた子どもエイサーや棒術や旗頭等の伝統芸能、豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどりがつながるまち」と「とみぐすく」を実現していくことを目的とする。	とみぐすく祭り実行委員会が開催する祭りに係る経費助成	とみぐすく祭りの来場者数:55,000人 基準年(24年):50,000人	(今後の展開方針) H26年度:55,000人 H27年度:57,000人 H28年度:59,000人		
⑦	与根漁港休憩施設整備事業	H26 ～ H27	与根漁港は遊漁船が盛んで、県民に広く利用されている。これからの漁業振興に重要で、今以上の利用者、観光客が利用できるように遊漁の待合所を設置する。	待合所の整備に向けた実施設計を委託	与根漁港休憩施設実施設計の作成	(今後の展開方針) H26年度:実施設計 H27年度:建築工事 H28年度:供用開始 ○遊漁乗客数 基準年(H25) 2,500人 H28 2,600人	10月変更 (事業廃止)	
⑧	文化観光創出事業	H24 ～ H33	H25年度策定の土地利用基本計画を踏まえ、豊見城城址公園及びその周辺について、観光資源として活用するために園路等の整備に向けた調査・測量・設計等を実施し、用地の一部を取得する。	・園路等の整備に向けた調査・測量・設計等の委託の実施 ・補償を含めた用地の一部取得の実施	・園路等の基本設計等の完了 ・補償を含めた用地の一部取得の完了(取得予定面積の約37.2%)	(今後の展開方針) ・用地買収(H26～) ・用地買収後に文化財調査を実施し、その効果を踏まえて段階的に園路やグスクゾーンの実施設計及び整備を行う。	5月変更 (事業追加) 1月変更 (事業費増額)	
2	持続可能な安全・安心なまちづくり事業	H24 ～ H27						
①	防災情報通信設備整備事業	H24 ～ H27	本庁舎と市内沿岸地域、集落地域、地域施設等を無線で結び、屋外拡声装置を取り付けた防災無線子局を当該地域に設置する。25年度整備に加え、建替え等のあった、5箇所について本部機能施設等と連携した防災無線システムを構築する。	市内5箇所へ無線設備の設置 (座安小学校、大地保育園、もみじ保育園、ドレミ保育園、むつみ保育園)	市内防災無線システム整備率98.5%	(今後の展開方針) H27年度:2箇所へ設置		
②	那覇空港周辺における航空機騒音測定業務	H24 ～ H26	那覇空港周辺地域の任意の3地点において航空機騒音測定を行い、地区内の騒音レベルを把握し、将来の快適な住民環境形成に資する。	航空機騒音測定の実施 (3地点×2回)	航空機騒音の実態把握(3地点)	将来の快適な住民環境形成を目指す 一測定結果を市HP等で公表し情報を共有する。 一関係機関と連携し改善策等を検討する。		
③	救助艇・水上バイク積載トレーラー牽引車両整備事業	H26	救助艇及び水上バイクを積載したトレーラーを牽引可能な車両を整備することにより、海、河川等における水難事故等への迅速な対応を可能にする。	救助艇・水上バイク積載トレーラー牽引車両(1台)の整備	水難事故現場へ救助艇及び水上バイクを同時に投入することができ迅速な救助活動が行える	水難救助マニュアル等を作成し、あらゆる事案に対応できる継続的な訓練等の実施を行う。	7月変更 (事業追加)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
	④	低炭素社会構築事業 (省エネ設備導入促進事業)	H26 ～ H28	積極的な省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の構築を図るため、防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。	・市内の防犯灯等の現況調査及び配置図面作成 ・防犯灯等のCO2排出量の調査	・防犯灯等のCO2排出量を把握し、CO2排出量の削減目標を設定する。	【平成27・28年度】 ・自治会防犯灯(LED)設置補助 ・市管理照明設備等をLED化 本事業を通して、市民の省エネ意識を向上させ、市民協働による低炭素社会の構築を推進する。	10月変更 (事業追加)
3		地域特性を活かした産業活性化事業	H24 ～ H33					
	①	とみぐすく産業まつり事業	H25 ～ H33	豊見城市産品を一堂に会したイベントを実施することにより、豊見城市民および近隣市町村民、観光客に対し市内の各種産業のPRを行う事により、産業の振興、地域活性の起爆剤とする。 また、異業種間での情報交流や交流の場とすることで、産業間の連携を産み出し、新たな産業の創出を図る。	とみぐすく産業まつりの開催に係る業務を委託	とみぐすく産業まつりの来場者数:32,500人 基準年:平成25年度30,190人	(今後の展開方針) H27年度来場者:35,000人	
	②	豊見城産マンゴー販売促進事業	H24 ～ H27	豊見城産マンゴーは、県の拠点産地に認定されるなど、評価が高いことから産地ブランド化を目指して県内外での販売促進活動等を実施する。	県内外における豊見城産マンゴー販売促進活動	豊見城産マンゴー販売促進活動 6回 豊見城産マンゴー県外出荷量 214t	(今後の展開方針) 販売促進活動等を実施し、豊見城産マンゴーを県内外へ広くPRする。 豊見城産マンゴー県外出荷量 H27:215t H26:214t H25:213t H24:212t H23:211t(基準年)	
	③	産業立地可能性調査事業	H26	企業誘致による産業集積を積極・継続的に推進していくことが重要、かつ求められている。そのための企業誘致の受け皿となる産業用地の適地、および今後の企業誘致の方向性を定める。	・本土企業の立地意向調査 ・県内企業の移転、増設等の意向把握 ・立地・移転・増設意向企業のヒヤリング調査 ・企業誘致の取組内容の基本方針策定	・本土企業の立地意向調査 2,500社 ・県内企業の移転、増設等の意向把握 500社 ・立地・移転・増設意向企業のヒヤリング調査 20社 ・企業誘致の取組内容の基本方針策定	企画部商工観光課において、策定した基本方針に沿った企業誘致活動を推進する。(空き店舗情報などの集約、企業訪問)	5月変更 (事業追加)
	④	西海岸地区活性化事業	H26	「西海岸地区整備基本構想」に位置づけされる与根地域(エアウェイゾーン、ヘルスケアゾーン等)を中心に空港近接性やIC周辺といった交通至便な特徴を最大限に活かした、物流機能をはじめとする企業立地を促進するため、関連法令等を遵守し実現可能な西海岸地区活性化基本計画書を策定する。	西海岸地区活性化基本計画策定業務の委託発注	西海岸地区活性化基本計画の策定	(今後の展開方針) ①インフラ整備(H27～H29) ②企業等誘致PR(H26～H27) ※H26企業ニーズ調査中もPRを行う ③税制優遇措置(H26～H27) ※国際物流特区指定(H26.6予定)	5月変更 (事業追加) 10月変更 (事業費増額)
	⑤	県外販路拡大支援事業	H26	市内事業所が開発した商品・サービスの販路拡大を図る目的のため県外において開催される展示会・見本市等への出展における経費の助成を行う。	県外で開催される、展示会・見本市等への出展する事業者へ経費の助成	県外展示会・見本市等において、市特産品等のPRを行い、販路拡大につながるネットワークを構築する	平成26年度の成果を検証し、商談成立件数の増が図れるよう、平成27年度以降の実施内容等を検討する。	7月変更 (事業追加)
	⑥	とみぐすくPR動画制作事業	H26	豊見城市の特産品や観光資源をテーマにPR動画(多言語対応)を制作し、市外に発信することで経済交流・観光の振興を図る。	とみぐすくPR動画の制作	市、観光協会、商工会、姉妹都市、特産品販売店、市内観光地等20箇所以上のホームページへ掲載	PR動画を活用し、豊見城市の特産品や観光スポットを広くPRし、特産品販売や観光客誘客の促進を図る。 ※H27年度動画再生回数目標:2,250回	10月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	次世代育成支援事業	H24～H33						
①	預かり保育事業	H24～H28	市立幼稚園教育時間終了後、幼稚園施設内で預かり保育を実施し、園児の健やかな発達と子育て環境の充実を図る。	預かり保育担当教諭配置:28名予定	預かり保育をする園児:500名		(今後の展開方針) 預かり保育担当教諭を継続配置し、共働き世帯等の保護者の負担の解消及び園児の健やかな発達と子育て環境の充実を図る。	
②	認可外保育園環境整備事業	H24～H26	市においては、子育て世代の人口増に伴い待機児童数が増え続けていることから、待機児童の受け皿となっている認可外保育園の施設整備に対して補助を行うことにより保育環境を向上させるとともに認可化を促す。	認可外保育園の保育環境を向上させるため、施設整備に対して補助	1施設(施設改修)		認可外保育園の施設環境を整備し、保育内容を向上させ、今後の認可化移行に繋げる予定。	
③	気になる子巡回相談事業	H26～H33	公立・法人・認可外保育施設における「気になる子」への保育の充実ときめ細かい対応を図るため、臨床心理士を配置し、相談・支援を行う。	公立保育所 2ヶ所、法人立認可保育園 14ヶ所、認可外保育施設 28ヶ所への巡回相談等の実施	公立・法人・認可外保育施設に入園している児童で「気になる子」への対応や保護者への相談・支援件数50件		(今後の展開方針) 障害児保育等の実施、健診及び相談支援部門と保育部門の連帯性の確立、保育士に対する普及啓発や研修の実施	
④	幼稚園給食導入事業	H26～H27	市内幼稚園では、預かり保育の需要が高まっている状況を考慮し平成27年度より学校給食を導入するため、各幼稚園に給食配膳室を設置する。また、新たに発生する幼稚園への給食配送及び回収等業務に対応する給食センターのプラットホームを増設するため、実施設計等を行う。	・給食配膳室設置校数:幼稚園6校 ・蒸気釜2台設置(幼稚園専用) ・牛乳保冷库7台設置 ・給食センタープラットホームの拡張工事設計の委託	・6幼稚園に給食配膳室を設置 ・給食センタープラットホーム拡張工事設計の実施		・市立幼稚園での学校給食の実施 ・プラットホーム拡張工事(H27)による安全、安心な給食の定時提供の確保を図る。	12月変更 (事業費増額)
5	生きる力を育む人材育成事業	H24～H28						
①	学力向上サポート事業	H24～H28	市内各小中学校への教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	学力向上推進補助員配置数 小学校:8人 中学校:3人	学力調査における県平均との差の改善: +0.8		(今後の展開方針) 学力向上推進補助員を継続配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	
②	情報教育補助員派遣事業	H24～H28	ICT教育補助員を派遣し、コンピュータを活用する授業で、教員をサポートしたり、児童生徒を指導を行うことにより、積極的にICTを活用した授業を実施する。	情報教育補助員配置数:3人	ICT機器等活用率:前年比 +0.5ポイント (操作・理解、関心・意欲)		(今後の展開方針) 情報教育補助員の継続配置を行い、ICT教育の推進を図る。	
③	適応指導教室学習支援員配置事業	H24～H28	不登校児童生徒やその保護者に対し指導員を配置し、教育相談や適応指導等の適切な支援を行うことにより学校復帰及び社会的自立を支援する。	適応指導教室学習支援員配置数 適応指導教室:2人	学校復帰率:30%(学校復帰した児童生徒/教室に在籍した児童生徒)		(今後の展開方針) 適応指導教室学習支援員の継続配置を行い、学校復帰率の改善を図る。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
④	自立支援教育指導員配置事業	H25～H28	不登校や問題行動のある児童生徒の日中の居場所を確保し、学級復帰及び社会的自立を支援するため、指導員を配置する。	自立支援教室指導員配置数 中学校:3人	市内中学校への自立支援教室指導員派遣率:100%	(今後の展開方針) 自立支援教育指導員の継続配置を行い、学校(学級)復帰率の改善を図る。		
⑤	登校支援員配置事業	H25～H28	不登校や不登校傾向にある児童やその保護者に対し、相談等や適切な支援を充実するため、登校支援員を配置し巡回など行う。	登校支援員配置数 小学校:4人	市内小学校への登校支援員派遣率:100%	(今後の展開方針) 登校支援員の継続配置を行い、学校復帰率の改善を図る。		
⑥	学習支援補助員配置事業	H26～H28	市内各中学校等の別室にて不登校(心因性や遊び・非行型)や問題行動のある生徒の生活指導や学習支援等を行うため、学習支援補助員を配置する。(主に中学校、状況に応じて小学校に配置する。)	学習支援補助員配置人数 中学校等:3人	問題行動等改善率:30%(補助員が関わった課題のある児童生徒のうち改善が見られた児童生徒数/補助員が関わった課題のある児童生徒数)	(今後の展開方針) 学習支援補助員を継続配置し、問題行動等の改善を図る。		
⑦	パソコン教室整備事業	H25～H28	パソコンを活用した学習カリキュラムを実施し、生徒の学習への興味、関心を高めながら学力の定着及び向上を図る他、情報端末操作技術の向上等、情報活用能力の向上ため、市内各小中学校におけるパソコン教室に備品(パソコン)を整備する。	パソコン教室パソコン整備	2学校のパソコン教室のパソコン整備(サーバー機、先生機、生徒機42台) 今年度は、パソコン教室の整備を行い、ICT機器等活用率:前年比 +0.5ポイントにつなげる(操作・理解、関心・意欲)	(今後の展開方針) H27:長嶺中学校(43台) H28:とよみ小学校(43台)の整備予定		
⑧	電子黒板整備事業	H25～H26	平成25年度の普通教室への電子黒板設置に加え、理科等の特別教室で行う授業に対して、ICT活用で効果的に理解を深める授業展開を目標に、各小中学校の特別教室、普通教室(増加分)及び分離新設校へ電子黒板を整備する。	電子黒板の整備(特別教室等及び分離新設校普通教室)	電子黒板の整備:79台 今年度は、電子黒板の整備を行い、ICT機器等活用率:前年比 +0.5ポイントにつなげる(操作・理解、関心・意欲)	整備した電子黒板を活用した授業等の実施		
⑨	外国人英語講師配置事業	H25～H28	児童生徒の英語学習や国際理解教育の向上を図るため、外国人講師を配置する。	外国語英語教師(ALT)の配置数 外国人:4名	市内小中学校への英語講師派遣率:100% 児童生徒の英語学習や国際理解教育の関心度の向上・維持	(今後の展開方針) 外国人英語講師を継続配置し、児童生徒の英語学習および国際理解の向上を図る		
⑩	小学校英語活動講師派遣事業	H25～H28	国際化時代に対応できる人材の育成を目的に、小学校の外国語活動や総合的な学習時間に日本人英語教師を配置する。	英語指導講師派遣校数 小学校:7校	市内小学校への英語講師派遣率:100% 児童生徒の英語学習や国際理解教育の関心度の向上・維持	(今後の展開方針) 英語活動講師の継続派遣を行い、小学生の英語に対する興味関心を引き出す。		
⑪	児童生徒派遣費補助事業	H25～H28	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を補助	H26年度:195名目標	(今後の展開方針) 28年度までに累計340名の児童生徒の派遣の補助		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
	⑫	青少年国際交流事業	H25 ～ H28	市内在住の中高校生をハワイ州に派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供するため、派遣に係る旅費などの一部を補助し、次代を担う国際的な人材を育成する。	市内中学生12名、高校生2名をハワイ州に派遣	現地(ハワイ)研修終了後、自国文化と異国文化の違いによる体験談を交えながら、報告会を行う。 また、アンケート調査により団員の興味関心高まった生徒の割合を70%にする。	(今後の展開方針) H27年度:中学生12名、高校生2名 H28年度:中学生12名、高校生2名	
	⑬	学校給食衛生管理機能拡充事業	H26	沖縄県の高湿多湿な気候の中で、食中毒から安全性を確保し、安全安心な給食の提供を行うため真空冷却機を新機種にし、児童生徒の健全育成を図る。	真空冷却機の発注	真空冷却機1台設置	設置した真空冷却機を活用し、安全安心な給食の提供を行う	
6		文化のまちづくり推進事業	H24 ～ H27					
	①	文化財説明板設置事業	H24 ～ H27	本市に存する文化財の説明板を設置し、文化財に係る地域住民の理解を深め、保全を促すとともに、新たな文化、観光資源として活用を目指す。	市内文化財説明板設置設置件数5基	市内文化財説明板設置件数:5基 ホームページへの紹介件数:計19基 平成23年(基準年:0基)	(今後の展開方針) H27年度:5基	
	②	組踊継承事業	H24 ～ H26	組踊「雪払」は昭和4～5年頃までは隣接する旧小禄村宇栄原で上演されていた。内容的には、豊見城の地名などが登場するなど、本市にゆかりのある組踊である。その台本は一部欠落しているため、平成24年度に沖縄振興特別推進交付金を用いて復元した。平成26年度は復元した台本を用いて上演を行い、地域にゆかりのある組踊として鑑賞の機会を与える。あわせて沖縄の伝統芸能である組踊の継承を図るものとする。	組踊り上演回数:1回 組踊学校鑑賞会実施校:2校	組踊「雪払」出演者数28名 組踊学校鑑賞会実施校:2校	組踊「未生の縁」「雪払」出演者延べ数272人(基準値:216人+H24年度:「未生の縁」+H26年度:「雪払」)	
7		健康文化と福祉のまちづくり事業	H26					
	①	すこやかスポーツ振興事業	H26	新設される市民体育館において、観光振興の観点から大会・スポーツイベント等の開催を推進するため、また、市民のスポーツへの参加意欲向上や健康増進と体力づくりを推進するため市民体育館の備品整備を行う。	市民体育館への備品整備	・大会・イベント等実施数 各種スポーツ大会 :3回 プロバスケット公式戦:1回 ・トレーニングルーム利用者数: 1,000名(供用期間:H27年1月～3月)	H27年度以降の大会イベント等実施数の増加。 トレーニングルーム利用者数 H27年度5,800名(供用期間:通年)	5月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。